

## 2 中 学 校

生徒数 30,402 人で、過去最低  
長期欠席者数は減少

表 6 中学校の推移

(単位：校、級、人、%)

年度	A 学校数	B 学級数	C		D		1学級当たり		教員1人当たり		女子教員 の占める 割合
			生徒数	対前年度 増減率	教員数	対前年度 増減率	生徒数 C/B	対前年度 増減数	生徒数 C/D	対前年度 増減数	
平成13	86	1,038	33,900	2.7	2,156	1.4	32.7	0.2	15.7	0.2	48.0
14	86	1,012	32,590	3.9	2,151	0.2	32.2	0.5	15.2	0.5	48.4
15	86	990	31,730	2.6	2,142	0.4	32.1	0.1	14.8	0.4	48.4
16	85	963	30,835	2.8	2,093	2.3	32.0	0.1	14.7	0.1	48.2
17	86	956	30,402	1.4	2,092	0.0	31.8	0.2	14.5	0.2	48.0
国立	1	12	472	1.3	23	4.5	39.3	0.5	20.5	1.2	30.4
公立	84	941	29,835	1.7	2,061	0.5	31.7	0.2	14.5	0.2	48.2
私立	1	3	95	-	8	-	31.7	-	11.9	-	37.5

### (1) 学校数

学校数は前年度より1校増加(富山市1校新設)し、86校(本校86校)となり、このうち休校は1校(本校1校)であった。

設置者別にみると、国立が1校、公立が84校、私立が1校となっている。

市町村別では、富山市28校、高岡市11校、南砺市9校等となっている。

学級数別学校数をみると、10学級が11校で最も多く、次いで7学級が9校となっている。

(表6、統計表21、23)

### (2) 学級数

学級数は956学級で、前年度より7学級減少した。

編制方式別にみると、単式学級が888学級(構成比92.9%)、75条の学級が68学級(同7.1%)となっている。

1校当たりの学級数は11.1学級(前年度11.3学級)で、全国の10.7学級を上回っている。

(表6、統計表22)

### (3) 生徒数

生徒数は30,402人(男子15,596人、女子14,806人)で、前年度より433人(1.4%)減少した。これはピーク時(昭和37年度、88,658人)の34.3%で過去最低となっている。

学級編制方式別にみると、単式学級生徒が30,236人、75条の学級生徒が166人となっている。

市町村別では、富山市 11,503 人、高岡市 4,506 人、南砺市 1,631 人の順に多い。対前年度増減数をみると、富山市 152 人（1.3%）、南砺市 62 人（3.7%）、黒部市 61 人（5.6%）、小矢部市 53 人（5.4%）など 12 市町村で減少している。前年度より増加したのは、大門町 58 人（9.8%）、上市町 18 人（3.1%）、舟橋村 17 人（17.5%）など 7 市町村であった。

1 校当たりの生徒数は 353.5 人（前年度 362.8 人）で、全国の 328.6 人を上回っている。

1 学級当たりの生徒数は 31.8 人（前年度 32.0 人）で、全国の 30.7 人を上回っている。

（表 6、7、統計表 25、36）

表 7 男女別及び学年別生徒数の推移

（単位：人）

年度	計	男子	女子	1 学年	2 学年	3 学年
平成13	33,900	17,322	16,578	11,107	11,050	11,743
14	32,590	16,669	15,921	10,456	11,099	11,035
15	31,730	16,299	15,431	10,188	10,458	11,084
16	30,835	15,790	15,045	10,211	10,175	10,449
17	30,402	15,596	14,806	10,047	10,181	10,174

#### （4）教員数及び職員数

教員数（本務者）は 2,092 人（男子 1,088 人、女子 1,004 人）で、前年度より 1 人（0.0%）減少した。教員総数に占める女子教員の割合は 48.0%となっている。

1 教員当たりの生徒数は 14.5 人（前年度 14.7 人）で、全国の 14.6 人を下回っている。

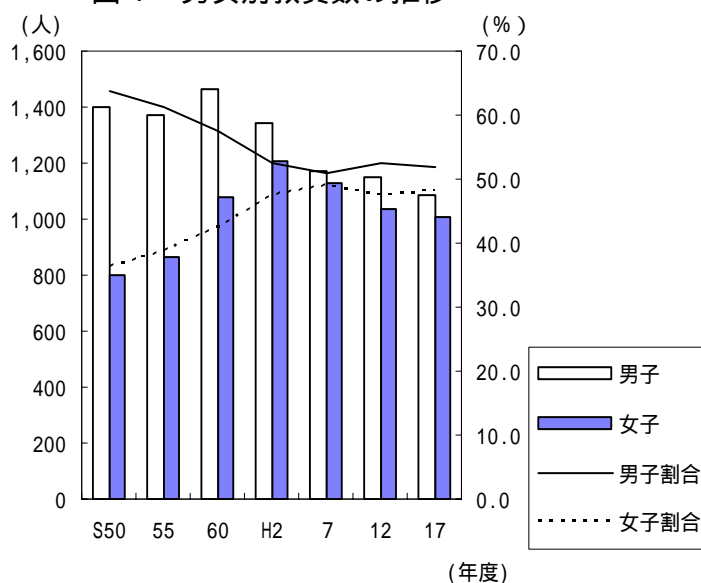
1 校当たりの教員数は 24.3 人（前年度 24.6 人）で、全国の 22.5 人を上回っている。

職員数は 401 人で、前年度より 15 人減少した。（表 6、8、図 4、統計表 30、34）

表 8 男女別教員数（単位：人）

年度	計	男	女
平成 13	2,156	1,121	1,035
14	2,151	1,109	1,042
15	2,142	1,106	1,036
16	2,093	1,084	1,009
17	2,092	1,088	1,004

図 4 男女別教員数の推移



(5) 理由別長期欠席者数

平成 16 年度間の 30 日以上長期欠席者数は、平成 15 年度間より 86 人(9.3%)少ない 836 人で、理由別では「不登校」が 736 人(構成比 88.0%)で最も多く、次いで「病気」が 55 人(同 6.6%)、「その他」が 45 人(同 5.4%)となっている。

全生徒数に占める長期欠席者の比率は、全国より 0.77 ポイント低い 2.71%で、低い順に全国第 5 位(前年度第 12 位)であった。

また、全生徒数に占める「不登校」の比率は、全国より 0.34 ポイント低い 2.39%で、低い順に全国第 12 位(前年度第 18 位)であった。(表 9、10、図 5、6、統計表 27)

表 9 理由別長期欠席者数 単位：人

年度間	総数	欠 席 理 由			
		病気	経済的 理由	不登校	その他
平成12	1,072	147	4	797	124
13	1,063	95	1	893	74
14	945	81	1	805	58
15	922	57	-	805	60
16	836	55	-	736	45

注) 「その他」には、「欠席理由が2つ以上(「病気」と「不登校」など)あり主たる理由を特定できない者」や「保護者の無理解・無関心から欠席している者」が含まれている。

図 5 長期欠席者の理由別推移

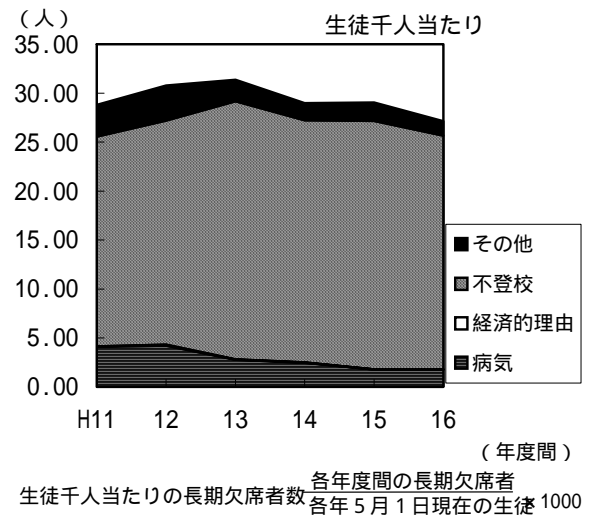


表10 全生徒数に占める  
不登校の比率  
(単位：%)

年度間	富山県	全国
平成 11	2.14	2.45
12	2.29	2.63
13	2.63	2.81
14	2.47	2.73
15	2.54	2.72
16	2.39	2.73

$$\text{比率} = \frac{\text{各年度間不登校の欠席者数}}{\text{各年5月1日現在生徒数}} \times 100$$

図 6 長期欠席者の推移

